

予算決算委員会 民生福祉分科会会議記録

| | |
|-------------|---|
| 1. 日 時 | 令和4年4月12日 13:28~14:23 |
| 2. 場 所 | 議員協議会室 |
| 3. 出席議員 | 向井千尋座長、上田英樹副座長、前田えり子委員、河南克典委員、小島政行委員、森本富夫議長 |
| 4. 欠席議員 | なし |
| 5. 会議に付した事件 | 議案第28号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号） |
| 6. 議事の経過 | <p>向井座長 挨拶 向井座長 開議宣告</p> <p>開議</p> <p>日程第1 議案第28号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）</p> <p>【市民生活部】</p> <p>■市民課より補正予算書に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p> <p>小島委員 マイナンバー申請率の目標を85%に設定した理由の説明をお願いします。</p> <p>市民生活部 国では令和4年度末までにほとんどの市民に行き渡るという目標を持って取組が行われています。市も、同じ目標を持って、今までも出張申請に行かせていただいたりして普及を進めてきましたが、現在の申請率は49%余りとなっています。目標を85%とさせていただきましたのは、他市の状況を見ますと、全国一位のところ83%ぐらいの申請率になっています。丹波篠山市として、今回のクーポン券の事業もありますし、令和4年度から職員の増員、支所のほうでも申請、交付ができるよう体制を強化するとともに、コンビニでの証明書交付手数料の引下げも行い、普及に向けて取り組んでおりますので、全国トップを目指して頑張りたいという意識を持ちまして85%というかなり高い目標を設定させてい</p> |

いただきました。

小島委員

このクーポン券の事業は、多分、商工会へ委託されると思うんですけど、この85%の目標を達成するために、いろいろな取組をされていますが、何か課題であったりとか、例えば会計年度職員も足りているのかその辺りの説明をお願いします。

市民生活部

当初の予定では令和4年度には9名体制の会計年度任用職員で出張申請などを行う予定でしたが、応募がなかった関係もあり、6名でスタートしております。今後、支所へ交付などで会計年度職員が行くこともありますので、少し人数的には厳しいと思っておりますが、今の体制の中で頑張っていきたいと思っております。また、随時職員の募集も行っているところです。

前田委員

大変苦勞されてるというのは分かるんですけども、やはり国民というか市民の中には、デジタル化とかマイナンバー制度とかに係る心配があるというか、不信感が根強くあると思うんです。丹波篠山市民の場合も、そういうところがあるのかと思うんですけども、なぜ普及が進まないのかについてはどのように考えておられますか。

市民生活部

マイナンバーカードを持つ、つくることに対して、個人情報の取扱いの部分でちょっと不信感をお持ちの方も確かにあると思います。自分は信念としてカードを持たないとはっきり言われる方もあります。ですので、セキュリティ対策により個人情報はきちっと守られているということも市としてもPRしていかないといけないと思っております。市の広報紙などを活用してしっかりと周知をしていきたいと考えています

上田副座長

先ほど小島委員のほうから、商工会に委託というような御発言あったんですけど、委託料1億715万9千円の委託先は商工会でよろしいのでしょうか。

それと、追加資料のコールセンター委託費23万円の内容について、どういう業務をされるのか教えていただきたいと思っております。

あと郵送料について1万2,000世帯分と3,000人分の2つに分かれた積算になっていますが、積算の根拠を教えていただきたいと思っております。

市民生活部

委託先につきましてはクーポン事業の実行委員会を立ち上げます。組織としましては商工会、観光協会、金融協会、市で実行委員会を立ち上げまして、そちらに委託をさせていただきます。

2点目のコールセンターについては、クーポンを使うに当たって土日の対応が市役所のほうでは出来ませんので、ウイズささやまに土・日・祝日の電話対応を委託する予定にしております。

3点目の郵送料について、1万2,000世帯分は、基準日としている8月31日までに取得された方に9月中にクーポン券をお送りする費用で

| | |
|-------|--|
| | <p>す。クーポン券は10月からの利用ですので9月に一斉に送付をします。3,000人分については、8月31日以降に申請された方について、個別の対応にてクーポン券を送らせていただく郵送料となっております。</p> |
| 上田副座長 | <p>そうすると、1万2,000世帯分というのは、1世帯に5人がカードを持っておられたら、1世帯分の名前等を列記して送られる。2人世帯でしたら6,000円分のクーポンを送られるというような考えでよろしいですね。</p> |
| 市民生活部 | <p>はい。</p> |
| 向井座長 | <p>今の取得率が42.4%ですけど、その内訳を教えてください。割と現役世帯が多いのか、それとも高齢者世帯が多いのか、何か特色があるのでしょうか。</p> |
| 市民生活部 | <p>市のほうではそういう統計が出てきませんが、全国的なものとしましては、現役世代と60代、70代ぐらいの方が多くなっております。若年層と高齢の80代、90代の方の取得が少ない傾向になっています。</p> |
| 向井座長 | <p>ということは、丹波篠山市の場合は高齢者の人口が多く、75歳以上の方へのアプローチは難しいんじゃないかなって感じがするんですけども、それをこのクーポン事業で何とかカバーしていこうということでしょうか。</p> |
| 市民生活部 | <p>国のほうでは2万円のポイントがありますが、高齢の方へポイントの説明をすると、もうやめとくわという方もいらっしゃいますので、今回はクーポン券という分かりやすいもので促進出来たらと思っています。それと、やはり市役所で待っていてもなかなか交通の便などにより来られないので、どんどんこちらのほうから出向いてよりきめ細やかな自治会単位など、そういう形で行かせていただきたいと思っています。個別訪問も出来たらと考えているところです。</p> |
| 森本議長 | <p>高齢者の対応をしようと思えば、自治会長を上手に取り込んで、例えば自治会の公民館に調整してもらって集まってもらうとか、最終的には個人宅を自治会長さんと一緒に回るといったことも考えられます。本当に85%の日本一を目指すのであれば、みんなで目指していけるような雰囲気づくりをよろしくお願いをしたいと思います。ポイントやクーポンもお得かもしれませんが、みんなが取得しないといけない、マイナンバーカードがこれからの行政のいろんなサービスの基になるんだというような雰囲気をつくっていただきたいと思うのですが、課長の決意をお伺いをしたいと思います。</p> |
| 市民生活部 | <p>自治会には令和3年度にも行かせていただいて自治会長さんに御協力いただき、公民館などで出張申請をさせていただきました。今年度も自治会長さんをお願いさせていただいて、前は平日の昼間でしたので、</p> |

| | |
|-------|--|
| 森本議長 | 週末や夜間などきめ細やかな対応をしたいと思っています。 希望のある自治会だけを回るのではなく、全部を回るということも大事かと思っています。 |
| 前田委員 | ちょっと押しつけになってはいけないと思います。マイナンバーカードは希望者に交付するということを始めから言われておりますので、本人がこれを持つメリットとかを感じないとカードは持たれないと思います。デジタル化が進む中で、いろんな心配が言われているので、私はポイントを付けたリクーポン券を出したりしてでも持たせるっていうことにはちょっと批判的なんですけど、必要によってはみんなでやらなければならないと思いますが、行政はその辺を十分に気をつけてほしいと思います。 |
| 市民生活部 | 去年から地域の公民館に行かせていただき、申請のサポートをしていますが、地域の方からはなかなか市役所まで出向くのが、面倒で、近くに来ていただく機会があれば申請出来たというような声も聞かせていただいていますので、再度、自治会長さん等とも調整させていただいて、より身近なところで申請できるようにしていきたいと思っています。また、できるだけ早い時期に支所のほうでも申請ができるようにしていきたいと考えておりますし、クーポン券を配布するからということだけではなく、持っていた後、免許証を返納された方であれば身分証明書にもなりますし、また健康保険証としての利用も市内の医療機関でも少しずつ進んできていますので、そういった形で活用していただける機会をつくっていくことも大事であると思っています。今回のワクワクシティクーポン配布事業を、コロナ交付金を活用してやっていきますので、より多くの方に還元していけるようにしっかりと普及促進をしていきたいと考えています。 |
| 小島委員 | 今言われたように、個人的にも出来たら保険証として使えたら良いと思います。今、市内のどのくらいの医療機関で保険証として使えるか分かればうれしいです。また、そのことをぜひ医療機関にもお願いしていただければと思います。 |
| 市民生活部 | 今、市内では大体10の病院と薬局で使えるようなことでホームページに載っております。これについては医療保険課のほうでマイナンバーの健康保険証の利用を広報しておりますので、そういう情報を皆さんに伝えたいと思います。また、医療機関へは市医師会などに働きかけて普及が進むように取組を行っていただいているところです。 |
| 河南委員 | 新生児の場合など、子どもが生まれた際にも、そういう推進の取組はされているのでしょうか。 |
| 市民生活部 | 出生の届出が出たときには声かけなどはさせていただいております。 |

河南委員 できるだけそういう届出のときに進めていくということも大事じゃないかと思うのでよろしく頼みます。

上田副座長 今回の補正予算は、マイナンバーカードの取得率の向上と、冷え切っている丹波篠山の地域経済を復活させようという2つの目的で予算化されていると思います。今回は戸籍住民基本台帳費で予算上が上がっており、マイナンバーカードの普及という国の方針もありますので、これがいかに便利なのかとか、メリットがあるということを市民課は十分にPRいただいて普及していただきたいと思います。

そして、マイナンバーカードを取得するためのオマケとしてのクーポン券という捉え方ではなく、商工関係の部署とも協議いただいて、地域の経済対策のためにクーポン券をこの期間内にどんどん使ってくださいということも大切かと思えます。これは市民課だけでは難しいと思いますので、商工関係の部署と十分に情報共有しながら、商工のほうに少しウエイトを置いて進めてもらったら良い方向に行くかなという気がするんですけど、部長から何かありましたらよろしくお願いします。

市民生活部 マイナンバーカードの活用につきましては、保険証やコンビニ交付など、今回のワクワクシティクーポン配布事業とあわせて、しっかり広報で周知していきたいと思っています。あわせまして事業を実施していくに当たりましては実行委員会を立ち上げて進めていくこととしており、そちらのほうには、観光協会、商工会さんも入っていただきますが、当然、市の商工観光課ともしっかり連携をしていきます。昨年度もワクワクシティクーポン事業をされていますのでそうしたノウハウもお聞きしながら、一緒に連携してやっていくということで調整をしております。

休憩 13:57-14:04

【保健福祉部】

■長寿福祉課、社会福祉課より補正予算書に基づき説明

<主な質疑応答等>

上田副座長 長寿福祉一般事務費と社会福祉一般事務費の数字の根拠をペーパーでいただいたらうれしいんですけども、どうでしょうか。

保健福祉部 わかりました。資料提供させていただきます。

【後刻、資料提出済】

森本議長 防護服等を5日分、7日分、10日分を用意するということについて、何か基準があるのか説明いただきたいと思います。

保健福祉部 介護施設も、障害施設も同じ考え方ですので、同じこととしてお聞きいただけたらと思います。10日、7日、5日という日数についてですが、入所系施設の入所者がコロナに罹られた場合は、入所施設内で隔離するところがありませんので、隔離期間である10日間支援員が支援する必要があることから10日分を用意します。また、訪問系につきましては、利用者がコロナに罹られたら御自宅にて過ごされることとなりますが、10日間の内、おおよそ7日程度の訪問となることから、そのような算出をしております。そして、通所系につきましては、利用者がコロナに罹られた場合は、その方は自宅にて過ごされて通所施設には来られませんが、職員の濃厚接触者のリスクがあることから、潜伏期間である5日間の用意ができれば対応できるというような根拠でございます。

森本議長 はい、十分に理解をさせていただきました。

向井座長 説明の中で、市内の高齢者施設でクラスターが起きたという話をされたんですけども、もう少し具体的な状況や行政としてどういうふうに対応されたかとか、今後どういうふうに対応されるのかお聞かせいただけたらうれしいです。

保健福祉部 市内の介護施設で2月にクラスターが発生いたしました。今は終息をしています。流れとしては、1人の入所者がコロナを発症し、その後、職員の方にも感染がわかりました。感染が判明するまで職員は仕事で入所者と接触されたのでどんどん広がっていったというような経緯がございました。施設でも本来は隔離をしなければならないのですが、施設内では空きのスペースがなく、ゾーン分けがうまく出来てなかったというのも一つの原因でした。それにつきましては丹波健康福祉事務所からも現場に行かれ予防対策の指導、ささやま医療センターの片山病院長と担当者も現場に行かれてゾーン分けの仕方の説明をされました。また、防護服の使い方についても、着脱の正しいやり方が出来ていなかったということもあって、その指導も受けまして、予防できるように勉強して何とか状況が落ち着きました。

1人の感染者が出ますと今回は感染力が強いウイルスなので皆さんが感染しまっているような状況にありますので、感染者や濃厚接触者が出たときには、介護サービス事業者協議会の申し合わせ事項として、必ず報告してもらって、その情報を協議会の施設の皆さんと共有して注意喚起をさせてもらっています。4月以降は、8日に利用者が1名、11日に職員が1名ということで2施設で感染者が出ています。

向井座長 福祉施設についてもお願いします。

保健福祉部 障害福祉施設についても、市内の入所施設で1か所、クラスターが発生し、2月8日に最初の発症が確認され3月10日に終息しました。対応

的には介護施設とほぼ同じ対応をしています。もしコロナ感染者が出たら報告を受け、市内の障害福祉サービス事業所にお伝えして、新たな広がりを防ぐようにしています。また、コロナ感染症が発症以降、補正予算対応等で消毒液やパネル等を適宜配布し、また厚生労働省からマスクやビニール手袋が毎月届きますので、順番に配布しています。4月11日現在で障害福祉サービス事業所につきましては、コロナ感染者の報告は受けておりません。

向井座長

対応ありがとうございます。本当に、現場のほうは陽性者が出たり濃厚接触者が出たりして大変だと思います。今回の補正予算は、クラスタの発生現状の把握と、それに対する今後の対応のために防護服等を用意する予算というふうに理解させてもらいました。今後も、事業所の現場の方の現状とかニーズとかを聞いていただきながら必要な支援を行政のほうからしていただけたらうれしいと思います。

■議員間討議

議案第28号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

－ 意見等なし －
－ 部長・市長への質問なし －

■意向確認

議案第28号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第1号）

－ 全員賛成 －

上田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

散会